



教育

おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(401)

〈調査結果考察〉

小学校の結果においては、全ての教科において県平均・地区平均を上回りました。算数における思考力・表現力の向上が課題と言えます。

中学校の結果においては、ほとんど全ての教科・項目で県平均・地区平均を下回りましたが、その中でも特に課題と言えるのが、社会と英語となっています。

町教育委員会では、中学校における指導方法の改善と家庭教育の充実を図ります。

なお、学習に関する意識や方法などを調べる『学習状況調査』の結果については、県や地区の結果がまだ発表されていませんので、後日公表します。

◆学校教育相談を受け付けています

町教育委員会では、いじめや不登校など、子どもの教育上のさまざまな悩みについて、相談に応じています。

経験豊かな教育相談員が、悩みの問題解消のため、一緒に考えたりアドバイスをを行ったりしています。お気軽に電話（☎476-1111 内線402）もしくはメール（本町ホームページから送信できます。）にてご相談ください。

まびの窓おしえの庭

NO.23

元 大崎町教育委員会管理課

参事兼指導主事 床並 伸治

（現 南九州市教育委員会指導主事）

今から約10年前の平成17年、鹿児島県の18歳以下の子どもが犯罪に遭った割合を示す『犯罪被害率』（子どもの人口1万人当たりの犯罪発生件数）が、全国で最も低いことが鹿児島県警察本部のまとめで分かったと報道されました。

当時、鹿児島県の発生件数は3.6件で、全国平均の9.4件を大幅に下回っており、1番高かった埼玉県が19.3件であったことを考えると驚異的な数値と言えます。県警は、『鹿児島県は全国と比較して地域の規範意識が高く、まとまりが強いことから子どもへの注意が行き届き犯罪に及びにくい環境にある』という分析結果を公表しました。

10年ひと昔と言いますが、ここ10年で社会環境は大きく変化してきています。『地域の規範意識の高さ』『地域のまとまりの強さ』『子どもへの注意が行き届く』といった鹿児島県の【誇れる良さ】は、果たしてどの程度維持されているのだろうか、私たちの住む大崎町ではどうだろうかと思ふところ です。

さて、学校・家庭・地域の連携の重要性は以前から言われていることですが、お題目でなく、本腰を入れて具体的に踏み込み、総合力で取り組まなければ効果は見られないと思います。そのために、学校・家庭・地域のそれぞれが、それぞれの役割を再認識し、着実に責任を果たすことが大事であると改めて感じるこの頃です。

大崎町では、『学校応援団』『スクールサポーター』といった具体的な動きが見えてきました。正に、前述の【誇れる良さ】を取り戻すための大きな一歩であると思います。